

21 海岸・河川の南海トラフ地震・津波対策の促進

～浦戸湾の三重防護等の推進～

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

- ・ 南海トラフ地震は、概ね90～150年周期で発生しており、昭和東南海・南海地震から既に約80年経過し、切迫度が年々高まっています。
- ・ 大規模な被害が想定される地域においては、時間的な制約のある中で実効性の高い地震・津波対策へ優先的に投資することが必要です。また、このことは全体の早期復旧復興にもつながるものです。
- ・ 本県においては、県全体の人口の約半分の人口が集中し、経済・都市機能が集積する県都高知市の被害最小化が急務となっています。
- ・ このため、事業の推進に不可欠な「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえた関係予算については、近年の激甚化・頻発化している自然災害への対応や、急速な資材価格・人件費高騰等の影響を考慮したうえで、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で当初予算として確保するようお願いいたします。
- ・ 加えて、令和7年度事業再評価による事業費増加も踏まえ、浦戸湾の三重防護対策の早期完成のため、より一層の手厚い予算配分をお願いいたします。

【政策提言の具体的内容】

- 県人口の約48%が集中し、経済・都市機能が集積する県都・高知市における浸水被害を最小化するため、海岸・河川堤防の耐震対策を迅速かつ確実に推進する必要があります。
- 目標としている令和13年度の事業の完成に向けて、「第1次国土強靱化実施中期計画」を最大限活用し、整備に必要となる予算を確保するなど、事業を着実に推進するための財政支援をお願いします。

【港湾局所管事業】

◆浦戸湾の三重防護（直轄・県事業）

- ・ 高知新港の防波堤の延伸と粘り強い化（津波のエネルギーを減衰）
- ・ 湾口部の津波防波堤、海岸堤防の耐震対策・嵩上げ（湾内への津波の侵入を低減）
- ・ 浦戸湾内の海岸堤防の耐震対策・嵩上げ（背後地への浸水を防止）

【水管理・国土保全局所管事業】

◆河川堤防（県事業）

- ・ 浦戸湾に流入する河川堤防の耐震対策・嵩上げ（背後地への浸水を防止）

【政策提言の理由】

- 浦戸湾の三重防護及び河川堤防の耐震対策事業は、まだまだ対策が必要な箇所が多く、その整備が急務となっています。南海トラフ地震の発生が逼迫していることから、事業の推進に不可欠な「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえた関係予算については、近年の激甚化・頻発化している自然災害への対応や、急速な資材価格・人件費高騰等の影響を考慮したうえで、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で当初予算として確保するようお願いいたします。加えて、令和7年度事業再評価による事業費増加も踏まえ、浦戸湾の三重防護対策の早期完成のため、より一層の手厚い予算配分をお願いいたします。

【高知県担当課】 土木部 河川課、港湾・海岸課